



事變國債初日の賣上

八千四百圓（八十二枚）

豫約を合せて一萬四千圓

昨廿二日から賣出された支那事變國債平局の割當では、十圓券八十四枚、廿五圓券廿枚、五十圓券廿枚、百圓券六十枚、五百圓券二十枚、一千圓券十枚、合計二萬八千三百四十圓で第一日（廿二日）の賣上げ左記の如く八千四百圓に達する旺盛振りである。今日廿三日は午

來月三日舉行する

平市公會堂落成式

來賓六百余名を招待して

平市公會堂本館の落成式は來月三日午前十時舉行に決した。時局柄成るべく簡素にして、招待者のみで四百名に近く、内務省、縣廳、縣議、市

昨日の俵米共販

前回の保ち合ひ

一俵十三圓八錢平均

石城郡販賣昨二十二日の俵米共販は既報後の販賣申込みを加へて一〇六五俵の出廻りあり、入山採炭及び各商人の競札の結果は最高十三圓一錢最低十三圓三錢平均十三圓八錢で取引されたが不調せるもの百二十俵で九百四十五俵を商談各倉庫値を上れば次の如くである。

日刊新聞日曜日誌
日刊新聞日曜日誌
日刊新聞日曜日誌
日刊新聞日曜日誌

常識講座

スペクトル（光線）をプリズムにて分解するものも、分光鏡を得たる色帯、分光鏡を云ふ。光線または有色体などを見た後に眼の底に残る影、餘影及び幻形などを指す。

二俵（十三圓六錢）同二號九俵（十三圓八錢）飯野一〇俵（十三圓十五錢）同二號一二二相馬米（十三圓八錢）夏井二四俵（十三圓十錢）

アイスキヤンデ
商業組合設立
石城アイスキヤンデ商業組合は設立認可申請中であつた

訓盲院の奉仕療治
職員生徒の夏季不休の結晶
全収入を軍事方面へ寄附

店員の恤兵献金
平市一丁目油店平野屋方店員土井清君は小遣を節約して貯めた現金一圓一錢を今二十三

紹介法最初の
違反者
炭礦坑夫の引ぬき

毛布の献納
平市町町湖月事鈴木千代吉氏は皇軍の防具具に毛布一枚を献納方今二十三日市役所に寄託した

小學生國防献金
石城郡湯本町小學校高小の三組女生大原きよ外十名は小遣を節約して持寄つた金二圓十八錢を廿一日國防献金した

其の筋に發せし平署管下では新法職業紹介法最初の違反者として檢舉取調中である
半島人の融和會
石城郡南に於ける半島人融和會は去る十九日植田署樓上に關係二十名を會して創立に關する協議會を開き顧問に成瀬巴三、中山吉之助兩氏が推された

戰地 第三次作戰の便

大攻略に進撃の備

平市上平窪出身 丹野 五郎

奉天中御伺ひ申上げます、酷暑の折御尊堂様益々御壯健にて御勤めの由と拜察致し居ります、過日は御鄭重な慰問品を頂戴致し早速御返禮も申上げます、御返禮の限りを盡し居ります、御返禮の延引切に御容赦の程御願ひ申上げます、慰問品有がたく頂戴致しました、小生其の後至極頑健にて〇州會戰に參加致し約半歳に亘つて作業の基礎であつた某地に旬日前歸還致しました、間もなく展開するであらう第三次作戰の大攻略に進撃せんとして居ります、戦線は擴大と長期に亘つて戦後皆々様に課せられるであらう重大なる御負擔と御苦勞に對しましては只々降頭にて對しましては只々降頭にて奉公の誠をつくし居ります

湯本國婦映畫會

活動資金造製

石城郡湯本町の國婦人會第一班は昨二十二日と今二十三日同日同町三福屋に時局ニュースの映畫と浪曲を開演し會費を造製した

坑夫落盤死

石城郡湯本町の長倉第二號炭坑夫吉田恒重（三）はまる二十一日午後三時頃坑内作業中落

（古文書類も時代別と其の通數を註すのは煩雜であるから假りに一括し、凡そ卷數に換へて示しておく）と、其の所載者が撰者かを略指し括弧内には、原本が寫本か刊本の三種のみを知らせるに止めあく、固より平史の編述を基礎として、其の参考資料であるから、直接に必要な以外、例へば本縣乃至東北全般に關係連絡すべきものは、尨大、無數であるから、其等を極限して唯だ平市文化の史的研究に必須

佛前を荒す賊
香奠と箱入菓子
平市南町西井醫院方へ去る二十日夜賊忍び入り同家が最近長逝した院主西井國三郎氏の七日の命日で焼香の人々から受けた香奠三十圓と箱入菓子供へて置いた佛前から佛前金を窃取されてゐるのを翌二十一日朝に發見し平署に届出で犯人殿探中であるが賊は同家の勝手を知る者らしいと

仲井 正成

下駄とパンツを

残して行方不明

小名濱町の郷宿後藤善代藏長男清一（八）は去る二十日晝頃に家を出たまま歸宅しないので八方捜した末海岸の堤防付近に下駄とパンツが置き放しになつてゐるので水遊び中波に呑まれたものと見られてゐる

勝つ事以外他意なし

丹野 五郎

奉天中御伺ひ申上げます、内地的も暑くなりましてせう、中支の方も暑いですが、しかし私は御陰様にて暑さなど敗けず元気居ります、戦軍友も皆元気一杯です、戦に勝つことより何も考へて居ります、留守宅を此の上にも何分御願ひ申します

（古文書類も時代別と其の通數を註すのは煩雜であるから假りに一括し、凡そ卷數に換へて示しておく）と、其の所載者が撰者かを略指し括弧内には、原本が寫本か刊本の三種のみを知らせるに止めあく、固より平史の編述を基礎として、其の参考資料であるから、直接に必要な以外、例へば本縣乃至東北全般に關係連絡すべきものは、尨大、無數であるから、其等を極限して唯だ平市文化の史的研究に必須

御誂ひも既製品も
高島屋洋服店
平二番三六

雲州神國印ソロバン
優勝印高級ソロバン
ウエル萬年筆
ライトインキ
ムツツリペン
玉泉堂の書道筆
古梅園の香道墨

魁文堂
代理店

一 奥州便覽誌、四福島縣本、（寫）
一 奥州南郷古館、一、井上家藏、（寫）
一 奥州秘鑑、一、相馬子爵家本、（寫）
一 奥州相馬記、一、警前縣藏、
一 奥州相馬記、一、警前縣藏、
一 赤穂義人傳、三、國書刊行會版、
一 安藤家譜、一、安藤子爵家藏、

